

水筒、やかんなど 金属製容器の使用方法にご注意ください

～ 酸性の飲み物による金属の溶出に伴う中毒に注意 ～

暑い季節になると、特に、冷たい飲み物を飲む機会が多くなります。
熱中症対策のため、スポーツ飲料を作り置きすることがあるかもしれません。

でも、使い方を誤ると、場合によっては中毒を起こすことがあるため、
もう一度、使用方法を確認しましょう。



確認ポイント

- 1 食品が接触する容器の内部に、サビやキズがないか確認しましょう！
- 2 酸性の飲み物を長時間、金属製の容器に保管しないようにしましょう！
- 3 古くなった容器は、定期的に新しいものに交換しましょう！
- 4 取り扱う食品の表示及び注意喚起を確認し、使用しましょう！

※ 酸性の飲み物とは・・・

主に炭酸飲料や乳酸菌飲料、果汁飲料、スポーツ飲料など

<全国の事例紹介>

- 水筒に入れたスポーツ飲料を飲んだ児童が、頭痛、めまい、吐き気を発症
内部が破損した水筒にスポーツ飲料を入れて長時間置いたことで、通常は直接触れない保温構造の内部まで飲み物が染み、さらに酸性飲料だったため、使われていた銅が溶け出したことが原因と考えられました。
- アルミニウム製のやかんでつくった乳酸菌飲料を飲んだ園児が吐き気、おう吐を発症
やかんで長期間にわたり繰り返しお茶などを沸かしたことで、水道水等に含まれる銅がやかんの内部に大量に付着し、そこに酸性飲料を入れたため、飲み物の中に銅が溶け出したことが原因と考えられました。